

平成 28 年度「研究実践特論」

場 所： F 1 0 2 講義室

＝研究職を目指される皆さんへ＝

月 日	タイトル 講師	概 要
12月1日 3時限	「研究というお仕事」 今田勝巳 教授（大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻・高分子科学専攻 OB）	産官連携組織、民間企業、独立行政法人、大学と渡り歩いた経験から、さまざまな研究機関での研究職の位置付け、文化の違いをお話しし、研究者に要求されるものやキャリアパスについて考えてみたいと思います。
1月12日 3時限	「キャリア形成と異分野コミュニケーション」 北沢美帆 助教（大阪大学全学教育推進機構・生物科学専攻 OB）	「異分野交流が大切だ」という話はよく耳にすることでしょう。異分野の人と交流することで、視野が広まり、新たな気づきが生まれ、面接がうまくなる……こともあります。しかし、異分野交流の機会を得るには、多くの場合、自ら行動を起こす必要があります。2年前に就職活動をした経験と、大阪大学全学の教育プログラムにかかわる立場から、皆さんが今、どんな行動を起こせるのか考える機会を提供したいと思います。
1月19日 3時限	「How, What and Why:理系は生き残れるのか」 大村一郎 教授（九州工業大学大学院工学研究院・数学専攻 OB）	自己紹介と経歴 会社と大学の違いは？ 理学と工学の違いは？ 日本の理系の特徴は？ 阪大理学研究系の立ち位置は？ How, What そして Why？ 我々（阪大理学研究科と OB）は何者か？
1月26日 3時限	「日本学術振興会・特別研究員制度について」 大屋知子 特任講師（大阪大学経営企画オフィス・生物科学専攻 OG）、 坂口愛沙 助教（大阪大学大学院理学研究科）	日本学術振興会の特別研究員制度というのをご存知ですか？M2 以上が申請でき、採択されるとドクターコースに在籍しながら（あるいはポストドクターとして）月額約20万円の研究奨励金が支給されます。できるだけ多くの大学院生の皆さんに、この特別研究員に採択されるように、この制度と申請書の書き方について説明します。
2月2日 3時限	「意思決定研究は人生の意思決定問題に役立つか？」 田中沙織 室長（株式会社国際電気通信基礎技術研究所・物理学科 OG）	キャリアパスを含め、私たちの日常は意思決定問題にあふれている。この講義では、意思決定に関わる脳の仕組みに関する自身の研究内容を紹介しつつ、国内外の大学および企業の研究所での研究経験から、大学院生に多様なキャリアパスの可能性を示したい。
2月9日 3時限	「転がる石～A rolling stone gathers no moss～」 寺田健太郎 教授（大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻・物理学専攻 OB）	22年前に「宇宙物理学」で学位を取得後、「地球化学」の助教として採用され転身しました。現在は、「惑星科学」の研究室を主宰しています。「毎日が綱渡り」の研究スタイルは、研究職を志す皆さんの「お手本」にはなりません、何かしらの「ヒント」にはなるかもしれません。私が受けた、心に残っているアドバイスをいくつかご紹介したいと思います。